

「川口市健康・生きがづくり計画（第二次）について」の概要

平成19年に策定された前計画の「川口市健康・生きがづくり計画（後期計画）」が平成25年度をもって計画期間を終了したため、新たな健康・生きがづくりの指針として「川口市健康・生きがづくり計画（第二次）」を平成26年3月に策定しました。

◎ 基本理念 「健康で生きがいをもって暮らすことができる都市・川口」

前計画より基本理念を継承。この理念を実現するために、生活にハリを与え、より良い人生を送るために重要な要素となる「生きがい」を合わせた4つの基本目標を、以下のとおり掲げています。

- (1) 健康寿命の延伸と健康格差の縮小
- (2) 生活習慣病の発症予防と重症化予防
- (3) 健康を支え守るための社会環境の充実
- (4) 生きがづくりの推進

さらに、これらの基本目標を達成するための10の取組分野を定め、それぞれ目標（目指すべき方向性）や成果を計る指標（数値目標）を設定しています。

【10の取組分野】

- | | | | |
|-----------|-------------|-------|----------|
| ① がん | ② 循環器疾患 | ③ 糖尿病 | ④ 栄養・食生活 |
| ⑤ 身体活動・運動 | ⑥ 休養・こころの健康 | ⑦ 飲酒 | ⑧ 喫煙 |
| ⑨ 歯・口腔の健康 | ⑩ 生きがづくり | | |

この計画に基づき、関係各課等が各種事業を計画的・継続的に実施いたしましたものを取りまとめましたので、別紙資料のとおりご報告いたします。

川口市健康・生きがいづくり計画(第二次) 推進施策の取組状況

報告事項(3) 資料

1 令和元年度実績

基本目標		・健康寿命の延伸と健康格差の縮小 ・生活習慣病の発症予防と重症化予防 ・健康を支え守るための社会環境の充実 ・生きがいづくりの推進										合計
		がん	循環器疾患	糖尿病	栄養・食生活	身体活動・運動	休養・こころの健康	飲酒	喫煙	歯・口腔の健康	生きがいづくり	
実施課	15	2	4	5	8	7	7	6	6	7	4	56
事業数	63	10	14	16	29	31	18	15	18	18	25	194

2 各取組分野における主な取組事業

(1)がん

地域保健センターによる「がん検診」において、胃がん(レントゲン)検診は検診車により公民館等で集団検診を、その他のがん検診は委託医療機関で個別検診を実施、乳がん(マンモグラフィ・視触診)は集団と個別検診を実施し、がんの早期発見・早期治療、更には受診者本人及び家族、身近なかたの健康意識の向上に繋がった。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、胃がん検診・大腸がん検診を一時中止するなどの影響により、がん検診全体の受診者数は前年度と比べ2.5%減っているが、肺がん検診の受診者数については3.5%の増となっている。

(2)循環器疾患・糖尿病

国民健康保険課による「未受診者訪問事業」において、特定健康診査未受診者約23,000人(前年度約10,000人から拡大)に対して電話による勧奨を実施した結果、2,928人の特定健康診査・人間ドック受診、493人の診療情報提供事業のデータ提供に繋がった。

(3)栄養・食生活

学校保健課による「小児生活習慣病予防検診」において、定期健康診断の結果、前年度と比較して肥満度が高く本事業の対象となる児童生徒の割合は若干減少したが、受診率についても、2日間の日程が終業式・始業式と重なったことから、前年度と比較して若干減少した。今後も、将来の生活習慣病予防に向けた取組を促進していく。

(4) 身体活動・運動

長寿支援課による「介護予防ギフトボックス事業」において、運動体験・仲間づくり・健康づくりに役立つ各体験教室を63教室開催、320人の参加者があり、体験終了後も継続して介護予防に取り組んでいけるような意識作りに繋がった。

(5) 休養・こころの健康

保健所疾病対策課による「こころの健康講座」は、「統合失調症」や「うつ病」について公民館等で年2回実施(新型コロナウイルス感染症の影響により1回中止)し、172人の参加者があった。精神科・精神疾患に関する不安、疑問、偏見の軽減に繋がる機会となり、相談窓口等の周知により、精神疾患を持つ方やその家族等からの相談利用のきっかけの場となった。

(6) 飲酒・喫煙

指導課による「飲酒防止教育」、「喫煙防止教育」では、市内全小学校6年生、中学校3年生を対象にして、様々な資料を活用しながら保健学習において、飲酒、喫煙が体に及ぼす影響について学習した。また、市内全小中学校で年1回以上実施する喫煙、飲酒、薬物乱用防止教室では、外部講師による具体的な事例を交えた講演を行い、飲酒、喫煙が体に及ぼす影響について学習した。

(7) 歯・口腔の健康

地域保健センターによる「成人歯科保健事業」において、問診・視触診による口腔がん検診は、前年度に比べ245人増の1,925人が受診した。成人歯科健康診査及び歯科ドックと併せ、事業の内容や周知方法を充実させ、更なる受診率向上を図る。

(8) 生きがいづくり

生涯学習課による「川口市民大学講座」において、大学教授や講師、人材バンク「魅学」登録者等による、歴史・文学・芸術コース、情報コース、公開講座、我がまち川口・再発見コース、自然科学コース、生涯学習推進講座、現代的課題コース、公民館等開催講座を毎年開催し、令和元(平成31)年度はリリアにおいて、貴乃花光司氏による公開講座を実施した。

3 令和2年度の方向性

(1) 継続 56事業

(2)縮小 3事業

地域保健センター 「健康手帳交付事業」

健康手帳の交付方法のオンライン化に伴い、在庫がなくなり次第、配布終了。

地域保健センター 「巡回みんなの保健室(成人健康相談)」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団で行う公民館等での実施を中止。希望者には地域保健センター会場のみ予約制で対応。また、事前周知に計測や検査は掲載せず、相談を受けていく中で必要性がある場合に実施。

地域保健センター 「39ヘルスチェック」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、集団での実施は中止とし、希望者は予約制の巡回みんなの保健室で個別に対応。

(3)休止 4事業

地域保健センター 「健康教育」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休止。集団での教室の実施はできないが、市ホームページやメール配信などで健康づくりの情報発信や啓発などを行う。

地域保健センター 「母子健康教室事業」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休止。参加できなかったかたへの情報提供として、市ホームページでの動画配信や資料掲載等を行う。

地域保健センター 「歯の健康フェスティバル」

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一時休止。

産業労働政策課 「川口市生活フェスティバル」

オリンピック・パラリンピックとの開催時期重複によるたたら祭りの中止により一時休止。令和3年以降は、たたら祭りの状況により検討。

※ 掲載事業の一覧を市ホームページに掲載いたします。参考にご覧ください。